

2024 年度中国活動報告

期 間：2024 年 9 月 8 日～9 月 11 日

場 所：仁人医院（大連）

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、中島 高博（国際委員会）

中国大連市において当委員会の叶明委員が副院長を勤める仁人医院の血液透析施設の視察を行った。

仁人医院の血液透析室は病床数が 50 床、171 名の維持透析患者を受入れており、月・水・金は 3 クール、火・木・土は 2 クールで治療を行っている。仁人医院の血液透析室は日本の施設を参考にして設計されており、顔認証を採用した体重計や自施設で作成した患者管理システムの導入により前回透析日からの体重増加や透析中のバイタル変化をリアルタイムで確認できるようになってい

た。また、透析治療後に管理栄養士による専用相談窓口の設置や一部東洋理学療法士の介入により透析患者の ADL の維持・向上を図っていた。

東洋理学療法は大きく鍼灸や漢方の利用などであり、7 つの治療法があり、患者の不快感や痛みを部位別で治療することが可能とのことである。現在のところ、多くの透析患者が東洋理学療法を受けているわけではないが、今後西洋医学や西洋理学療法との融合によってさらなる治療効果の向上を期待できる可能性を感じた。

